

☆★矢野目小学校教育目標★☆☆互いを大切に、笑顔で協働する子どもも
 ☆★自ら学び、深く考えて行動する子ども☆☆心と体を鍛え、命を大切にする子ども

令和6年度矢野目小学校 学校だより
みんなの広場 2
 笑顔があふれ、明日もまた来たくなる学校
 2024.4.23 発行 No.8 文責 目黒 満

今週の金曜日は、1～4年生の遠足です。明日・明後日は少し雨マークも見られますが、金曜は晴れの予報です。体調管理・お弁当準備よろしくお願いします。

早寝・早起き・朝ご飯

家庭と学校ががっちり手を繋ぐ2年目に

「実感を持った学び」を目指して授業を進めています

今、全国の学校では「主体的、対話的で深い学び」や知識・理解に加えて「思考力・判断力・表現力」を身につけることをめざす学びが求められています。

本校でも、こうした授業実践をめざし、一時間一時間の授業のねらいを明確にし、一人一人に分かりやすい課題を設定して授業を進めています。45分間の授業を通して、課題の解決のために一人一人が自分なりの考えを持ち、どうやったら答えが見つかるか、どうやったら解決できるか、お互いの考えを出し合い、力を合わせて答えを見つけ出す力を育てようと、毎日、

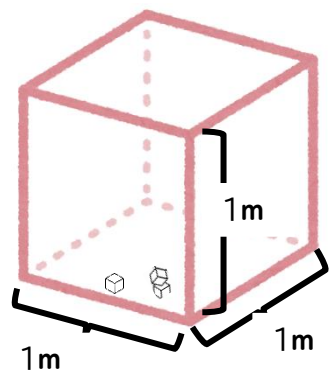


実感を持った学びのある授業づくりに取り組んでいます。

写真は、5年生の算数の授業です。一辺が1m×1m×1mの立方体の大きさを実感するために、テープを使って実物大の立方体を作り、その大きさを実感しながら学習を進めている様子です。「この立方体の中に1cm×1cm×1cmの立方体が何個あるか」という課題を、実感を持って考える工夫をしています。

子どもたちは、単に教科書に書いてある問題を解くのではなく、自分自身の生活や感覚に関係づけ、実感を持って考えることで、学習への関心や意欲が高まり、少々難しくても最後まで粘り強く解決に取り組むようになります。

また、一人一人の考えを子どもたち同士がお互いに表現し合う中で、思考・判断を繰り返すことでどんどん考えを深めていきます。そんな授業での深い学びを通して思考力・判断力・表現力を伸ばしていきたいと考え日々の授業に取り組んでいます。



6年1組・2組で租税教室を実施しました

今日の2校時目と3校時目に、6年生の2クラスで租税教室を行いました。

講師として公益財団法人福島法人会青年部会の三津間先生をお招きし、税の種類や税の働き、自分たちにどのように税金が役立っているのかや、納税することの大切さ等を学習しました。



「税金」と言っても、なかなか子どもたちにとっては、言葉もその存在も身近ではありませんでしたが、コンビニでの買い物の際でも消費税を納めていることを知り、税を納めているという感覚が少しでも持てたのではないのでしょうか。また税金がないと身の回りや社会生活に欠かせない様々なことがらに大きな影響を与えるということも理解できたものと考えます。講師の三津間先生、ありがとうございました。

昨日は保健室来室者や早退者が多い一日となりました。また、今日は欠席者が1.5倍増となりました。
 3週目で疲れが溜まっていることに加え、朝から、または前日の夜から調子が悪い、スポ少で筋肉痛がひどい、休みの日に家族と過ごして痛みがあった等、土日または朝から体調不良があった児童が多くいました。
 十分な休養と毎朝のお子さんの健康観察をよろしくお願いします。